

蒲郡市
第4次障害者計画策定のための
アンケート調査結果速報

令和4年11月

目次

1 調査の概要	2
1-1 目的・対象等	2
1-2 調査時期	2
1-3 調査の対象と回収結果	2
1-4 本報告書について	2
2 集計結果速報	3
回答者の基本属性について	3
外出や地域での状況について	7
健康や医療について	9
発達支援や教育について	11
障がいを理由とする差別などについて	13
主な介助者について	15
今後の暮らしや福祉サービスの利用について	16
障がい者施策全般について	21

1

調査の概要

1-1 目的・対象等

本調査は、障がい者へのさまざまな支援の充実と障がいを理由とする差別の解消などを進めるための計画【障害者計画】策定において、その基礎資料とするために実施するものです。

また、障がい者への障害福祉サービスや児童の通所支援などの充実を進めるための計画【障害福祉計画】と【障害児等福祉計画】の策定にも活用します。

1-2 調査時期

本調査は、令和4年10月24日から11月10日までの期間で実施しました。

1-3 調査の対象と回収結果

本調査は、障害者手帳所持者、児童発達支援事業等の利用者、難病患者を対象に実施し、次のとおりの回収結果となっています。

調査対象	配布数	回収数	有効回収数※	有効回収率
● 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者				
● 児童（児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業利用者等）	2,000	932	915	45.8%
● 難病患者				

※回答不可による白票17を除いた数

1-4 本報告書について.....

- 図表の数値は、無回答を含む回答者数に対する百分率（%）で表しています（一部設問は、無回答を除く）。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しており、単数回答（1つに○）は、比率の合計が100.0%となるように調整しています。
- 複数回答（あてはまるものすべてに○）の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- 平成28年調査は平成28年10～11月に実施した「蒲郡市第3次障害者計画」策定のための調査、令和2年調査は令和2年7～8月に実施した「蒲郡市第6期障害福祉計画・第2期障害児等福祉計画」策定のための調査です。

2

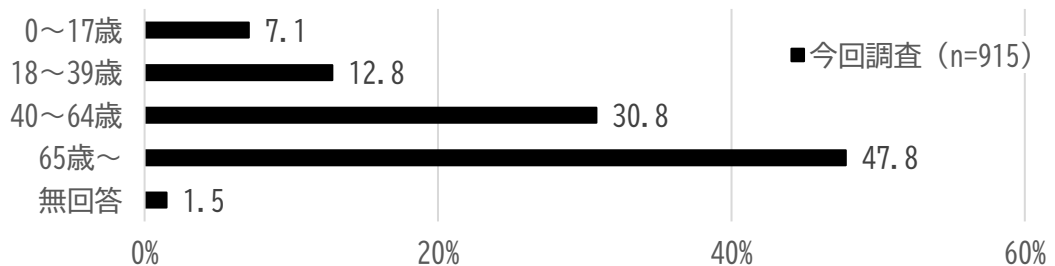
集計結果速報

主な設問の集計結果をまとめると、次のとおりです。

回答者の基本属性について

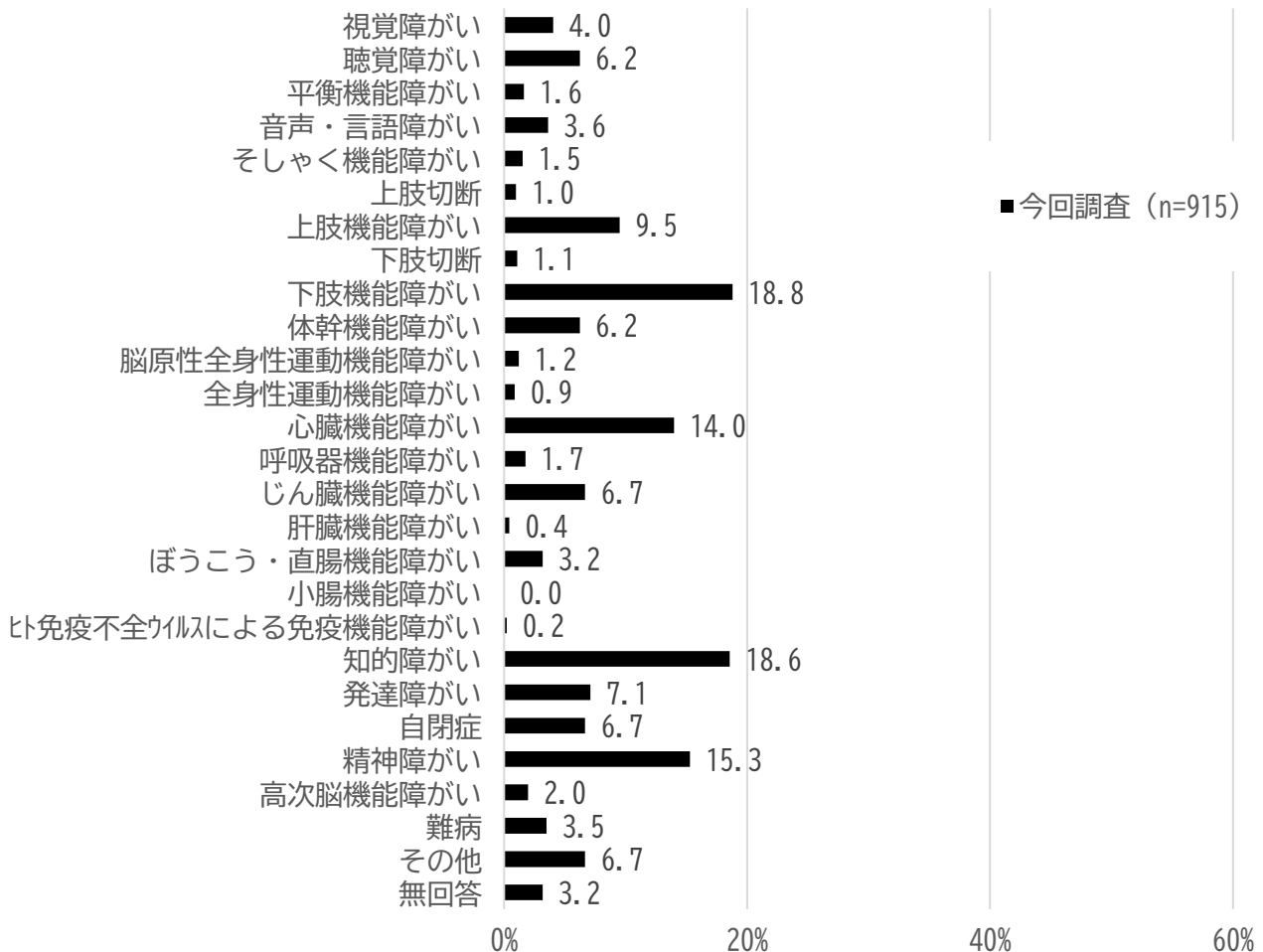
(1) 年齢（1つに○）

- 0～17歳の児童が7.1%、18～39歳が12.8%、40～64歳が30.8%、65歳以上の高齢者が47.8%となっています。

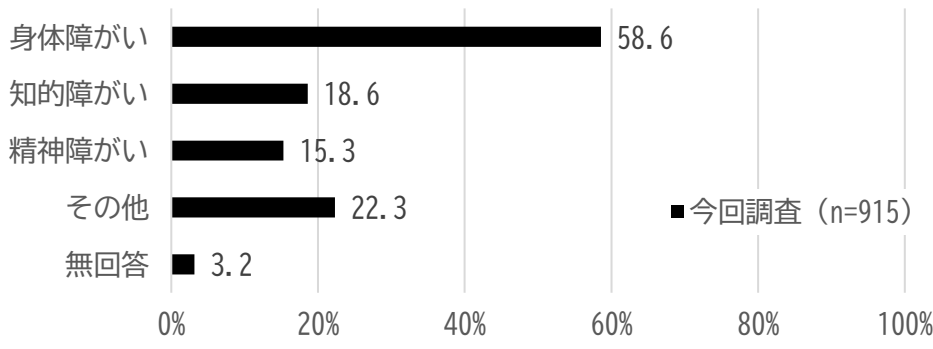


(2) 障がいの種類（あてはまるものすべてに○）

- 下肢機能障がいが18.8%、知的障がい18.6%、精神障がい15.3%、心臓機能障がい14.0%などと続いています。



- 障がい種別を4区分に統合すると、身体障がいが58.6%、知的障がい18.6%、精神障がい15.3%、その他が22.3%となっています。
- 手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者では「下肢機能障がい」が27.8%と最も高く、療育手帳所持者では「知的障がい」が82.7%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「精神障がい」が83.8%、特定医療費受給者証所持者では「難病」が70.6%、小児慢性特性疾病医療受給者証所持者では「体幹機能障がい」が66.7%、手帳不所持者では「知的障がい」と「精神障がい」がそれぞれ33.3%となっています。



【手帳別】

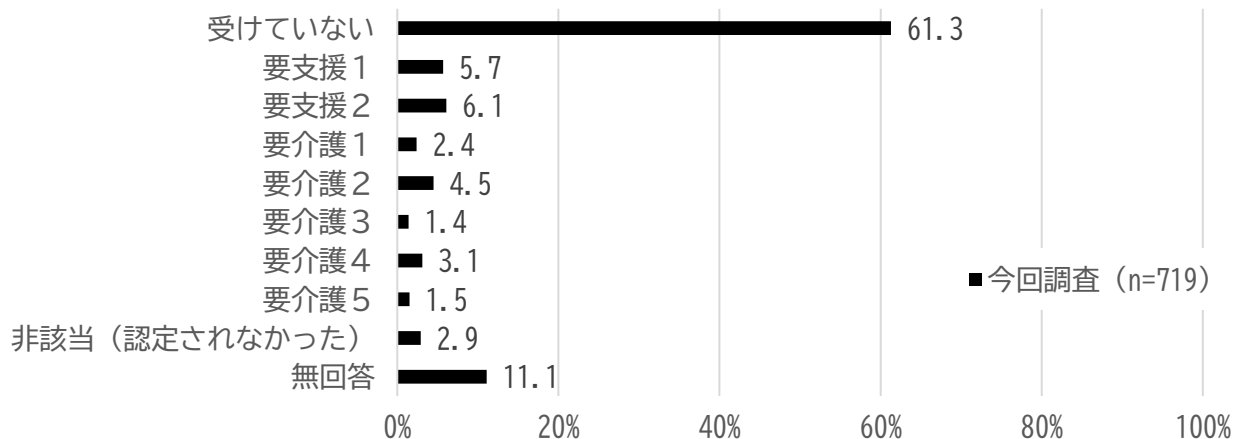
	回答者数	視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声・言語障がい	そしゃく機能障がい	上肢切断	上肢機能障がい	下肢切断	下肢機能障がい
全体	915	4.0%	6.2%	1.6%	3.6%	1.5%	1.0%	9.5%	1.1%	18.8%
2-2 手帳の等級や判定										
身体障害者手帳所持者	601	6.2%	8.5%	2.5%	5.2%	2.2%	1.5%	14.1%	1.7%	27.8%
療育手帳所持者	197	1.0%	2.0%	1.5%	2.0%	1.0%	0.0%	3.6%	0.0%	4.1%
精神障害者保健福祉手帳所持者	142	0.7%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	3.5%
特定医療費受給者証所持者	17	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%
小児慢性特性疾病医療受給者証所持者	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
手帳不所持者	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	回答者数	体幹機能障がい	脳原性全身性運動機能障がい	全身性運動機能障がい	心臓機能障がい	呼吸器機能障がい	じん臓機能障がい	肝臓機能障がい	ぼうこう・直腸機能障がい	小腸機能障がい
全体	915	6.2%	1.2%	0.9%	14.0%	1.7%	6.7%	0.4%	3.2%	0.0%
2-2 手帳の等級や判定										
身体障害者手帳所持者	601	9.3%	1.8%	1.3%	20.5%	2.3%	10.0%	0.7%	4.7%	0.0%
療育手帳所持者	197	9.6%	0.5%	0.5%	2.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障害者保健福祉手帳所持者	142	2.1%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%
特定医療費受給者証所持者	17	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%
小児慢性特性疾病医療受給者証所持者	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手帳不所持者	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	回答者数	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	知的障がい	発達障がい	自閉症	精神障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	無回答
全体	915	0.2%	18.6%	7.1%	6.7%	15.3%	2.0%	3.5%	6.7%	3.2%
2-2 手帳の等級や判定 (あてはまるものすべてに○)										
身体障害者手帳所持者	601	0.3%	4.2%	1.2%	0.3%	3.8%	2.7%	3.8%	8.5%	3.8%
療育手帳所持者	197	0.0%	82.7%	23.4%	23.9%	5.1%	0.0%	1.5%	3.6%	1.0%
精神障害者保健福祉手帳所持者	142	0.0%	5.6%	13.4%	10.6%	83.8%	3.5%	2.1%	2.1%	2.1%
特定医療費受給者証所持者	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	70.6%	0.0%	5.9%
小児慢性特性疾病医療受給者証所持者	3	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
手帳不所持者	3	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(3) 介護保険の認定（1つに○） ※40歳以上に限定して集計

- 要支援1・2が11.8%、要介護1～3が8.3%、要介護4・5が4.6%で、認定者は24.7%となっています。
- 要支援・要介護認定者は、40～64歳の8.9%、65歳以上の34.8%となっています。
- 40～64歳では、要支援1・2が4.3%、要介護1～3が2.5%、要介護4・5が2.1%となっています。
- 65歳以上では、要支援1・2が16.7%、要介護1～3が11.9%、要介護4・5が6.2%となっています。



【年齢2区分別 認定状況】

		回答者数	要支援・要介護認定者	受けていない・非該当	無回答
全体		719	24.6%	64.3%	11.1%
2-1 年齢	40～64歳	282	8.9%	77.3%	13.8%
2区分	65歳～	437	34.8%	55.8%	9.4%

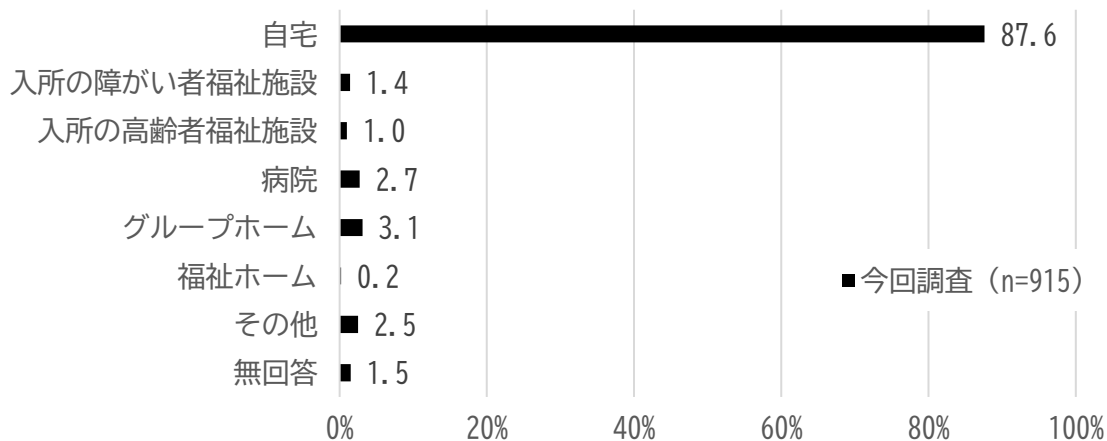
【年齢2区分別 認定状況】

		回答者数	受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	無回答
全体		719	61.3%	5.7%	6.1%	2.4%	4.5%	1.4%	3.1%	1.5%	2.9%	11.1%
2-1 年齢	40～64歳	282	73.8%	1.8%	2.5%	0.4%	1.4%	0.7%	1.4%	0.7%	3.5%	13.8%
2区分	65歳～	437	53.3%	8.2%	8.5%	3.7%	6.4%	1.8%	4.1%	2.1%	2.5%	9.4%

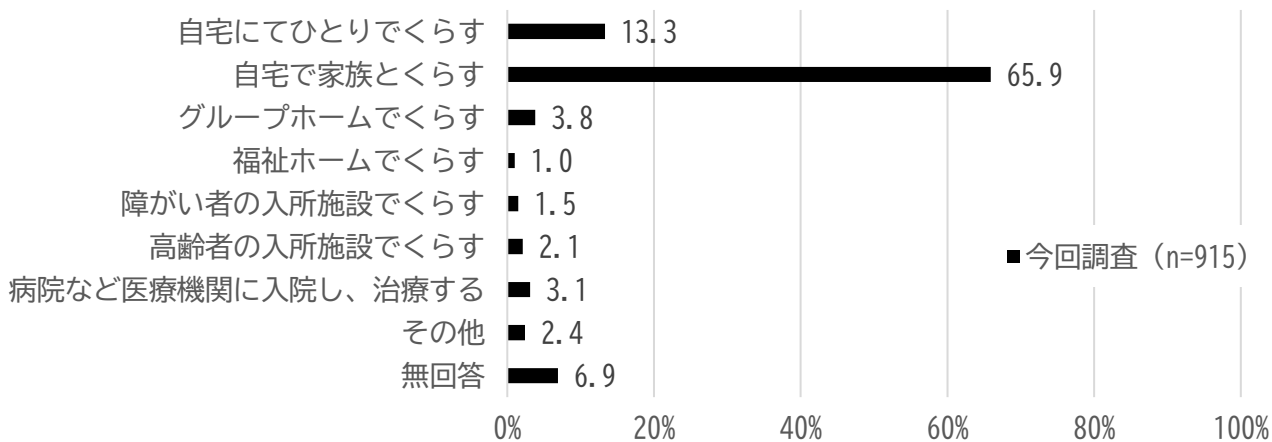
(4) 現在暮らしている場所・今後3年以内の暮らし方の希望（1つに○）

- 現在は、自宅が 87.6%、グループホームが 3.1%などと続いています。
- 今後の希望は、「自宅で家族とくらす」が 65.9%、「自宅にてひとりでくらす」が 13.3%で、合わせると 79.2%となっています。現在暮らしている場所別で見ると、自宅の場合は 87.9%が今後も自宅での暮らし（自宅にてひとりでくらす、自宅で家族とくらす）を希望しており、グループホームの場合は 7.1%が自宅での暮らしを希望しています。

【現在暮らしている場所】



【今後3年以内の暮らし方の希望】



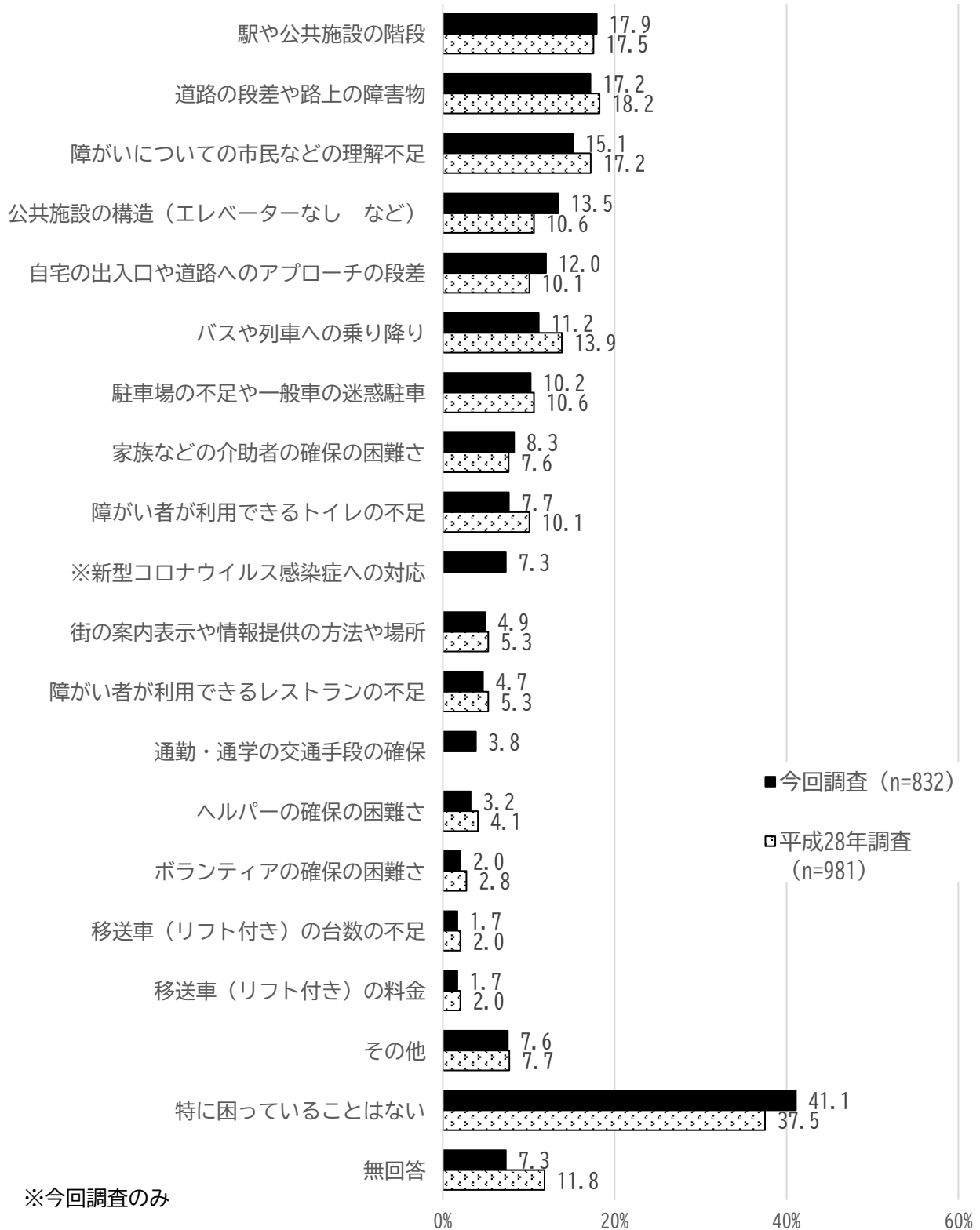
【現在暮らしている場所別 今後3年以内の暮らし方の希望】

		回答者数	自宅にてひとりでくらす	自宅で家族とくらす	グループホームでくらす	福祉ホームでくらす	障がい者の入所施設でくらす	高齢者の入所施設でくらす	病院など医療機関に入院し、治療する	その他	無回答
全体		915	13.3%	65.9%	3.8%	1.0%	1.5%	2.1%	3.1%	2.4%	6.9%
2-6 現在暮らしている場所	自宅	801	14.6%	73.3%	1.4%	0.7%	0.5%	1.2%	1.5%	1.1%	5.7%
	入所の障がい者福祉施設	13	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	46.1%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	入所の高齢者福祉施設	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	病院	25	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	56.0%	4.0%	16.0%
	グループホーム	28	0.0%	7.1%	71.5%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	10.7%
	福祉ホーム	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	23	8.7%	21.7%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%	30.7%	21.7%

外出や地域での状況について

(5) 外出のときに困っていること（あてはまるものすべてに○）

- 「駅や公共施設の階段」、「道路の段差や路上の障害物」、「障がいについての市民などの理解不足」が上位で、上位3つは平成28年調査と同様です。



- 年齢4区分別で見ると、0～17歳では「障がいについての市民などの理解不足」が29.0%と最も高く（「特に困っていることはない」と同率）、同回答は65歳未満で比較的高くなっています。65歳以上では「駅や公共施設の階段」や「道路の段差や路上の障害物」といった、まちの構造を困りごととしてあげる回答が比較的高くなっています。
- 障がいの種類4区分別で見ると、身体障がいでは「駅や公共施設の階段」や「道路の段差や路上の障害物」といった、まちの構造を困りごととしてあげる回答が比較的高く、知的障がいや精神障がい、その他では「障がいについての市民などの理解不足」が比較的高くなっています。

【年齢4区分別】

	回答者数	自宅の出入口や道路へのアプローチの段差	公共施設の構造（エレベーターなしなど）	駅や公共施設の階段	道路の段差や路上の障害物	駐車場の不足や一般車の迷惑駐車	通勤・通学の交通手段の確保	バスや列車への乗り降り	移送車（リフト付き）の台数の不足	移送車（リフト付き）の料金	ヘルパーの確保の難しさ
全体	832	12.0%	13.5%	17.9%	17.2%	10.2%	3.8%	11.2%	1.7%	1.7%	3.2%
2-1 年齢4区分	0～17歳	62	3.2%	8.1%	1.6%	8.1%	9.7%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%
	18～39歳	111	4.5%	8.1%	8.1%	7.2%	9.9%	9.0%	0.9%	0.9%	8.1%
	40～64歳	264	7.6%	12.9%	15.5%	18.2%	13.3%	4.9%	9.8%	2.3%	2.7%
	65歳～	381	18.9%	16.5%	25.2%	21.0%	8.9%	0.5%	13.9%	1.8%	1.6%

	回答者数	ボランティアの確保の難しさ	家族などの介助者の確保の難しさ	障がい者が利用できるトイレの不足	障がい者が利用できるレスポランの不足	街の案内表示や情報提供の方法や場所	障がいについての市民などの理解不足	新型コロナウイルス感染症への対応	その他	特に困っていることはない	無回答	
全体	832	2.0%	8.3%	7.7%	4.7%	4.9%	15.1%	7.3%	7.6%	41.1%	7.3%	
2-1 年齢4区分	0～17歳	62	1.6%	6.5%	4.8%	4.8%	14.5%	29.0%	6.5%	11.3%	29.0%	4.8%
	18～39歳	111	1.8%	10.8%	9.0%	3.6%	3.6%	26.1%	9.0%	6.3%	45.9%	5.4%
	40～64歳	264	2.7%	10.2%	11.0%	7.2%	6.4%	20.1%	11.0%	8.3%	39.8%	7.6%
	65歳～	381	1.8%	6.6%	5.8%	3.4%	2.9%	6.3%	4.5%	6.6%	43.0%	7.3%

【障がいの種類4区分別】

	回答者数	自宅の出入口や道路へのアプローチの段差	公共施設の構造（エレベーターなしなど）	駅や公共施設の階段	道路の段差や路上の障害物	駐車場の不足や一般車の迷惑駐車	通勤・通学の交通手段の確保	バスや列車への乗り降り	移送車（リフト付き）の台数の不足	移送車（リフト付き）の料金	ヘルパーの確保の難しさ
全体	832	12.0%	13.5%	17.9%	17.2%	10.2%	3.8%	11.2%	1.7%	1.7%	3.2%
2-4 障がいの種類4区分	身体障がい	496	17.7%	17.9%	24.4%	24.2%	12.9%	2.0%	14.1%	2.4%	2.0%
	知的障がい	156	6.4%	7.1%	5.8%	5.8%	8.3%	7.7%	7.7%	0.6%	5.8%
	精神障がい	127	3.9%	6.3%	13.4%	9.4%	3.9%	5.5%	7.9%	0.8%	3.1%
	その他	184	8.2%	13.0%	13.0%	15.8%	7.1%	8.2%	10.3%	0.0%	1.6%

	回答者数	ボランティアの確保の難しさ	家族などの介助者の確保の難しさ	障がい者が利用できるトイレの不足	障がい者が利用できるレスポランの不足	街の案内表示や情報提供の方法や場所	障がいについての市民などの理解不足	新型コロナウイルス感染症への対応	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	832	2.0%	8.3%	7.7%	4.7%	4.9%	15.1%	7.3%	7.6%	41.1%	7.3%
2-4 障がいの種類4区分	身体障がい	496	2.2%	8.3%	9.5%	5.2%	5.0%	9.5%	7.3%	38.7%	6.5%
	知的障がい	156	3.2%	10.3%	6.4%	3.2%	4.5%	27.6%	11.5%	36.5%	10.3%
	精神障がい	127	0.8%	11.0%	6.3%	3.1%	2.4%	26.0%	6.3%	43.3%	7.1%
	その他	184	2.2%	11.4%	8.7%	7.1%	6.5%	27.7%	11.4%	9.8%	31.5%

健康や医療について

(6) 健康管理で困っていること（あてはまるものすべてに○）

- 年齢4区分別で見ると、65歳未満ではいずれの年齢区分も半数近くの人が「通院に関することで困っている」状況です。
- 障がいの種類4区分別で見ると、精神障がいでは半数を超える人（53.6%）が「通院に関することで困っている」と回答しており、「家庭でのケアや運動する機会が少ないことに困っている」との回答も33.6%と比較的高くなっています。

【年齢4区分別】※

		回答者数	通院に関する ことで困っ ている	家庭での ケアや運 動する機 会が少な いことに 困ってい る	健康・医 療に関す る情報不 足や相談 できる人 がいない	感染症へ の不安が 大きい	その他	特に困っ ているこ とはない	無回答
全体		915	40.3%	22.1%	9.7%	18.4%	3.1%	43.5%	5.1%
2-1 年齢 4区分	0～17歳	65	47.7%	12.3%	7.7%	15.4%	9.2%	44.6%	1.5%
	18～39歳	117	46.2%	20.5%	11.1%	13.7%	1.7%	38.5%	5.1%
	40～64歳	282	47.2%	27.3%	16.3%	20.9%	2.8%	39.0%	2.1%
	65歳～	437	33.0%	20.1%	5.5%	18.5%	2.5%	47.8%	7.8%

【障がいの種類4区分別】※

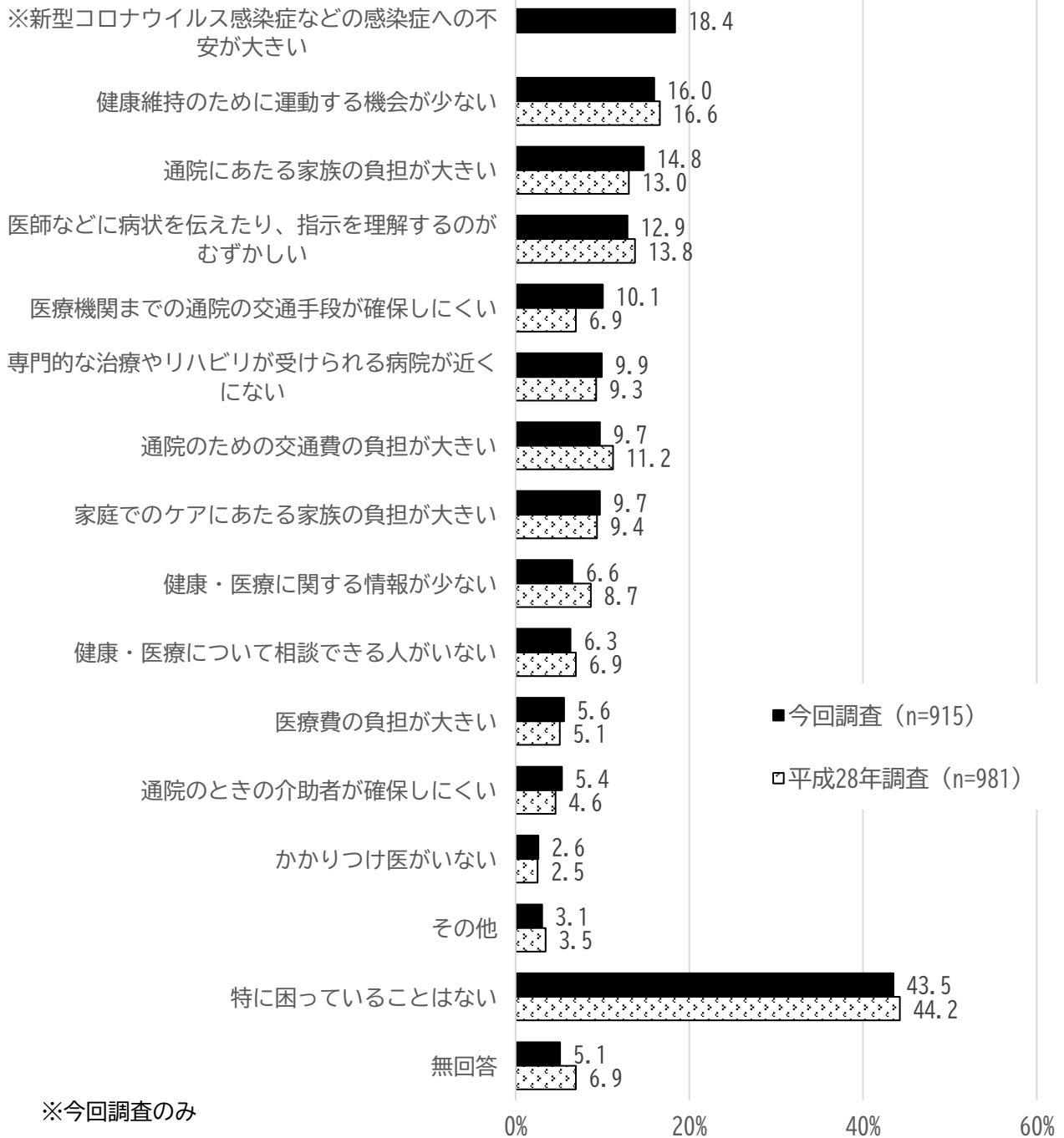
		回答者数	通院に関する ことで困っ ている	家庭での ケアや運 動する機 会が少な いことに 困ってい る	健康・医 療に関す る情報不 足や相談 できる人 がいない	感染症へ の不安が 大きい	その他	特に困っ ているこ とはない	無回答
全体		915	40.3%	22.1%	9.7%	18.4%	3.1%	43.5%	5.1%
2-4 障が いの種類 4区分	身体障がい	536	38.6%	22.9%	7.6%	19.4%	2.2%	44.4%	4.9%
	知的障がい	170	41.2%	14.7%	11.2%	14.7%	4.1%	44.1%	3.5%
	精神障がい	140	53.6%	33.6%	20.0%	19.3%	2.9%	32.1%	2.9%
	その他	204	46.6%	23.0%	12.7%	23.0%	6.9%	38.2%	3.9%

※選択肢を統合して集計

統合後	統合前
通院に関することで困っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関までの通院の交通手段が確保しにくい ● 通院のときの介助者が確保しにくい ● 医師などに病状を伝えたり、指示を理解するのがむずかしい ● 専門的な治療やリハビリが受けられる病院が近くにない ● かかりつけ医がいない ● 通院のための交通費の負担が大きい ● 医療費の負担が大きい ● 通院にあたる家族の負担が大きい
家庭でのケアや運動する機会が少ないことに困っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭でのケアにあたる家族の負担が大きい ● 健康維持のために運動する機会が少ない
健康・医療に関する情報不足や相談できる人がいない	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康・医療に関する情報が少ない ● 健康・医療について相談できる人がいない
感染症への不安が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症などの感染症への不安が大きい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● その他

- 困っていることの詳細を見ると、「新型コロナウイルス感染症などの感染症への不安が大きい」（平成 28 年調査には選択肢なし）が最上位で、そのほかの上位は「健康維持のために運動する機会が少ない」や「通院にあたる家族の負担が大きい」をはじめ、平成 28 年調査と同様です。

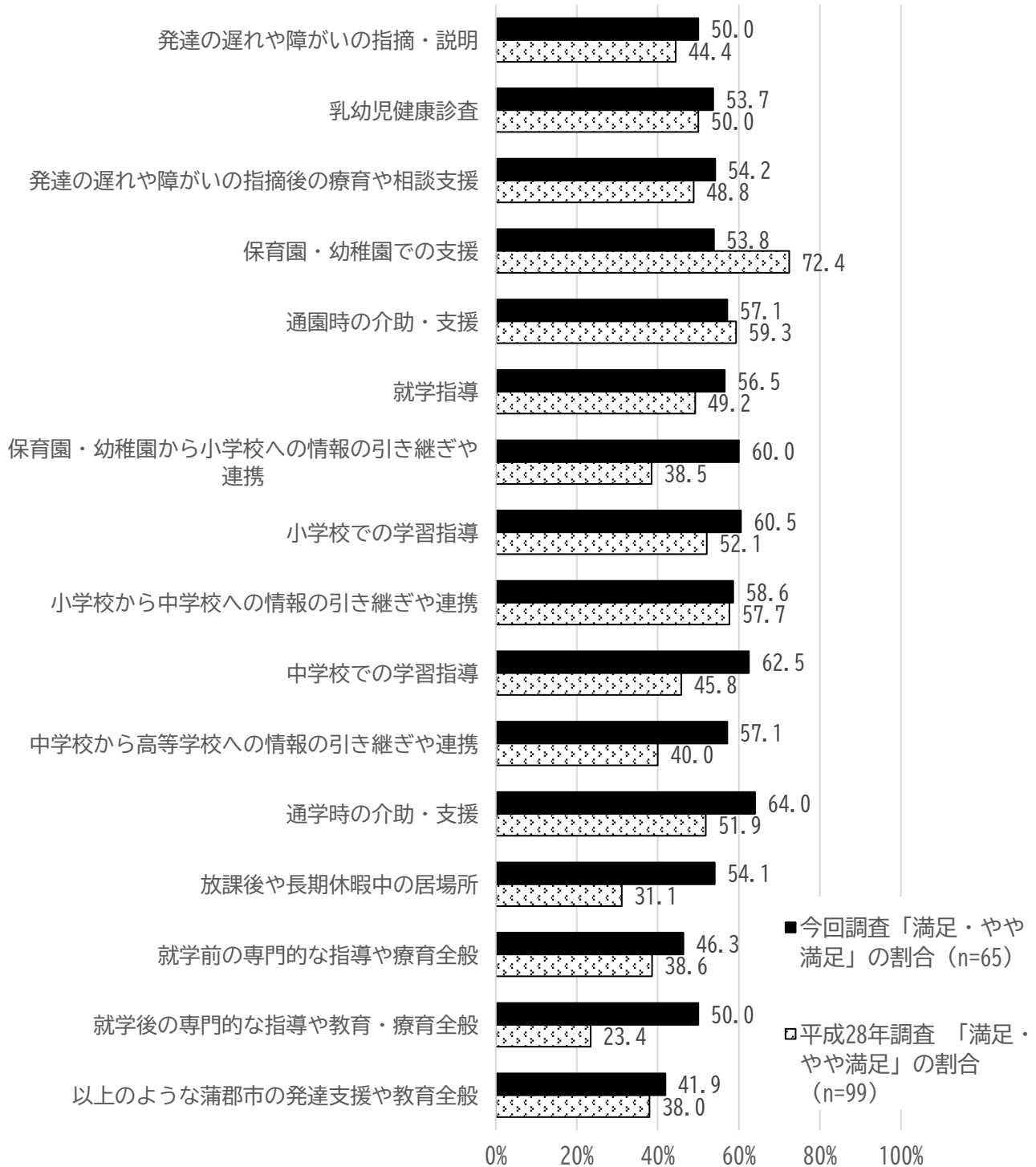
【困っていること詳細】



発達支援や教育について

(7) 蒲郡市の発達支援や教育の満足度

- 「満足・やや満足」という割合（満足率）は、“放課後や長期休暇中の居場所”や“就学後の専門的な指導や教育・療育全般”などで平成28年度調査を上回っている一方、「保育園・幼稚園での支援」では平成28年調査を下回っています。←この結果に対する分析は今後実施
- “蒲郡市の発達支援や教育全般”の満足率は41.9%となっています。



- “発達遅れや障がいの指摘後の療育や相談支援”の満足度について、年齢3区分別（回答者が少ないため参考値）で見ると、「満足・やや満足」という割合（満足率）は0～5歳で30.0%、6～11歳で54.6%、12～17歳で33.4%となっています。
- “発達遅れや障がいの指摘後の療育や相談支援”の満足度について、障がいの種類別（回答者が少ないため参考値）で見ると、「満足・やや満足」という割合（満足率）は知的障がい46.5%、発達障がい45.8%、自閉症38.0%などとなっています。

【年齢3区分別“発達遅れや障がいの指摘後の療育や相談支援”の満足度】

		回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体		65	10.8%	29.3%	16.9%	16.9%	21.5%	4.6%
2-1 年齢 3区分	0～5歳	10	0.0%	30.0%	20.0%	40.0%	0.0%	10.0%
	6～11歳	22	22.7%	31.9%	18.2%	13.6%	9.1%	4.5%
	12～17歳	33	6.1%	27.3%	15.2%	12.1%	36.3%	3.0%

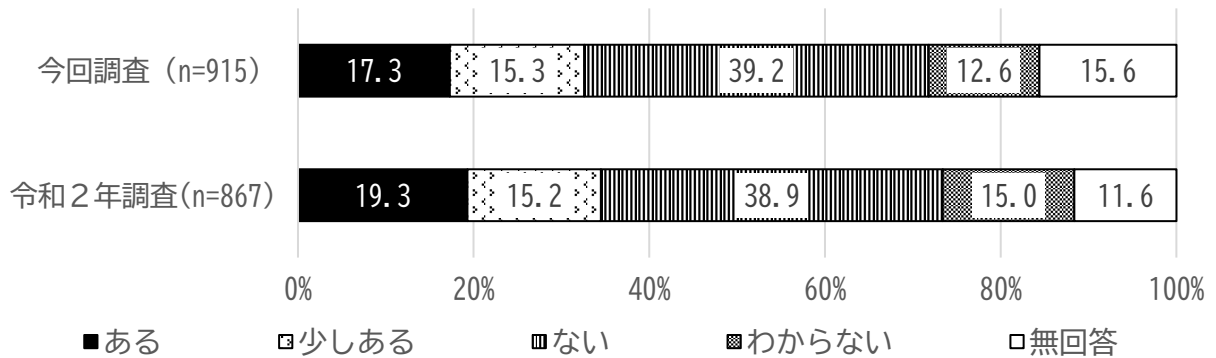
【障がいの種類別“発達遅れや障がいの指摘後の療育や相談支援”の満足度】

		回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体		65	10.8%	29.3%	16.9%	16.9%	21.5%	4.6%
2-4 障がいの種類	視覚障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	聴覚・平衡機能障がい	4	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	11	9.1%	9.1%	36.3%	18.2%	18.2%	9.1%
	内部障がい	4	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	知的障がい	43	14.0%	32.5%	11.6%	18.6%	18.6%	4.7%
	発達障がい	24	8.3%	37.5%	20.8%	12.5%	16.7%	4.2%
	自閉症	21	9.5%	28.5%	14.3%	14.3%	28.6%	4.8%
	精神障がい	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	高次脳機能障がい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	難病	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

障がいを経由する差別などについて

(8) 障がいがあることで差別を受けたと感じること (1つに〇)

- 障がいを経由する差別を感じることは、「ある」が17.3%、「少しある」が15.3%、合わせると32.6%で、令和2年度調査から大きな変化は見られません。
- 年齢7区分別で見ると、「ある」、「少しある」との回答率は0～5歳で70.0%、6～17歳で58.1%など、概ね若い年齢区分ほど高い結果となっています。



【年齢7区分別】

		回答者数	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全体		915	17.3%	15.3%	39.2%	12.6%	15.6%
2-1 年齢 7区分	0～5歳	10	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	6～17歳	55	30.8%	27.3%	18.2%	18.2%	5.5%
	18～39歳	117	27.4%	27.4%	23.9%	16.2%	5.1%
	40～64歳	282	26.6%	18.4%	32.0%	15.2%	7.8%
	65～74歳	158	8.2%	12.0%	50.0%	10.8%	19.0%
	75～84歳	180	3.9%	5.0%	56.1%	7.2%	27.8%
	85歳～	99	7.1%	8.1%	48.4%	11.1%	25.3%

- 障がいの種類別で見ると、「ある」、「少しある」との回答率は自閉症で70.5%、発達障がいでは61.5%、知的障がいでは51.2%、精神障がいでは50.7%と、これらの障がいでは50%以上となっています。
- 現在暮らしている場所別で見ると、自宅で32.8%、グループホームで50.0%などとなっています。

【障がいの種類別】

		回答者数	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全体		915	17.3%	15.3%	39.2%	12.6%	15.6%
2-4 障がいの種類	視覚障がい	37	10.8%	18.9%	35.2%	13.5%	21.6%
	聴覚・平衡機能障がい	69	17.4%	21.7%	29.0%	14.5%	17.4%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	36	2.8%	11.1%	58.3%	13.9%	13.9%
	肢体不自由	247	15.0%	18.2%	43.3%	9.7%	13.8%
	内部障がい	227	4.8%	5.7%	55.5%	8.4%	25.6%
	知的障がい	170	30.6%	20.6%	23.5%	19.4%	5.9%
	発達障がい	65	38.4%	23.1%	15.4%	16.9%	6.2%
	自閉症	61	45.9%	24.6%	8.2%	13.1%	8.2%
	精神障がい	140	35.7%	15.0%	25.0%	17.9%	6.4%
	高次脳機能障がい	18	22.2%	22.2%	33.4%	22.2%	0.0%
	難病	32	21.9%	9.4%	18.8%	28.0%	21.9%
その他	61	18.0%	14.8%	44.2%	11.5%	11.5%	

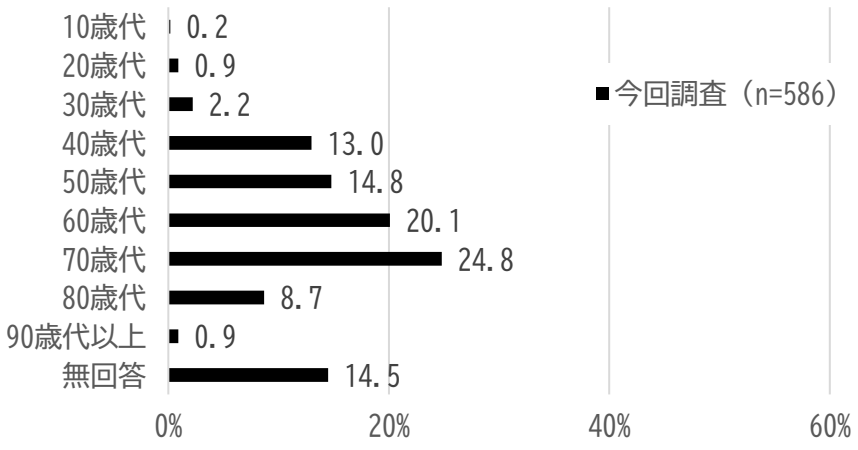
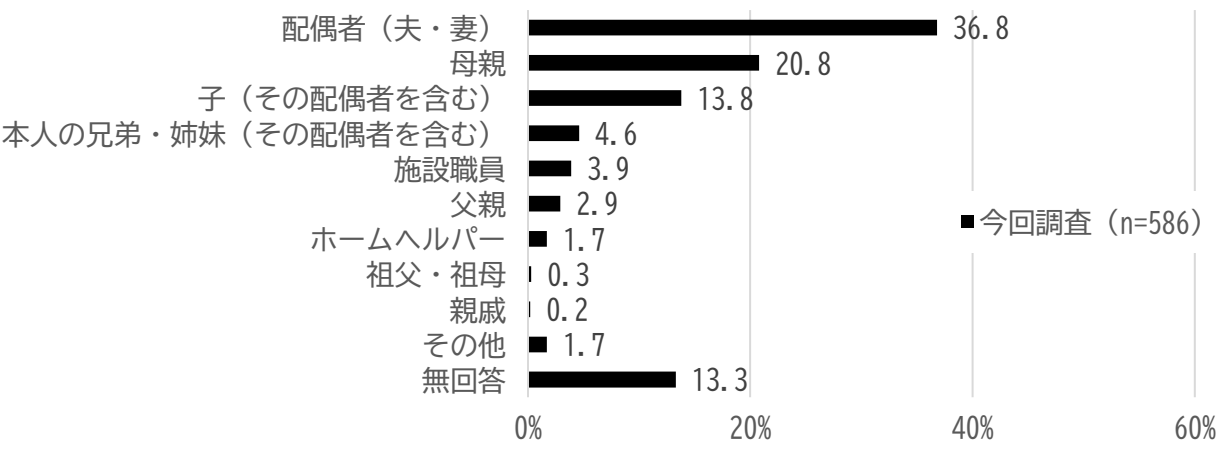
【現在暮らしている場所別】

		回答者数	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全体		915	17.3%	15.3%	39.2%	12.6%	15.6%
2-6 現在暮らしている場所	自宅	801	17.2%	15.6%	41.4%	11.1%	14.7%
	入所の障がい者福祉施設	13	15.4%	15.4%	23.1%	46.1%	0.0%
	入所の高齢者福祉施設	9	0.0%	0.0%	33.4%	33.3%	33.3%
	病院	25	0.0%	0.0%	44.0%	24.0%	32.0%
	グループホーム	28	28.6%	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%
	福祉ホーム	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他	23	26.1%	13.0%	17.4%	13.0%	30.5%	

主な介助者について

(9) 主な介助者（1つに○）と年齢

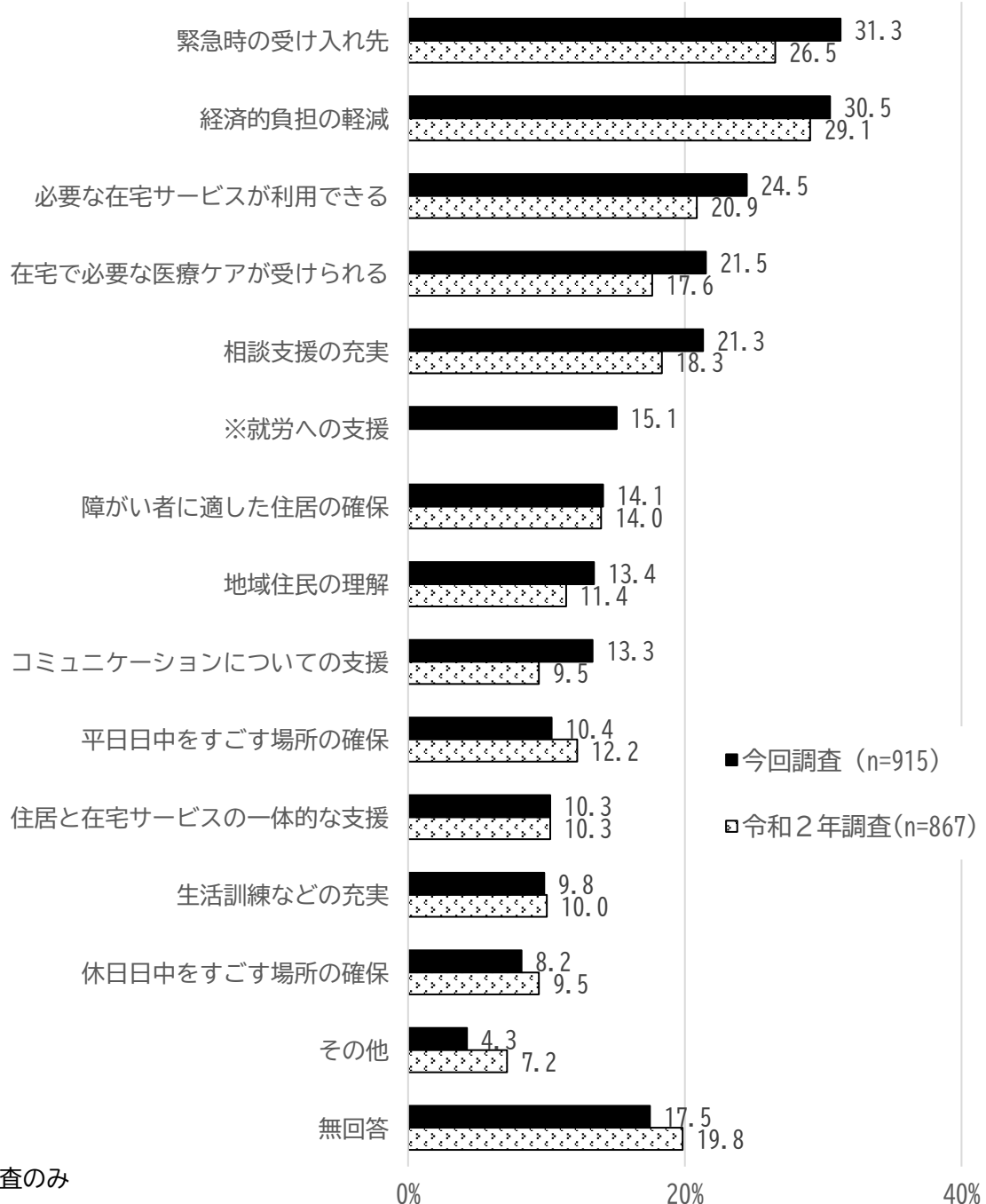
● 主な介助者は、「配偶者（夫・妻）」、「母親」、「子（その配偶者を含む）」が上位3つで、介助者の年齢は70歳代以上が34.4%となっており、10歳代は0.2%（18歳が1人）で、18歳未満の介助者（ヤングケアラー）は0人となっています。



今後の暮らしや福祉サービスの利用について

(10) 自宅や地域でくらすために必要な支援（あてはまるものすべてに○）

- 「緊急時の受け入れ先」と「経済的負担の軽減」が上位2つで、「緊急時の受け入れ先」の回答率は令和2年度調査から上昇しています。



- 障がいの種類別で見ると、「緊急時の受け入れ先」との回答は多くの障がいで最上位となっており、同回答率は知的障がいの40.0%や自閉症の42.6%などが比較的高くなっています。
- 「就労への支援」との回答は、発達障がいで52.3%、自閉症で47.5%と、これら障がいで最も回答率の高い項目となっています。

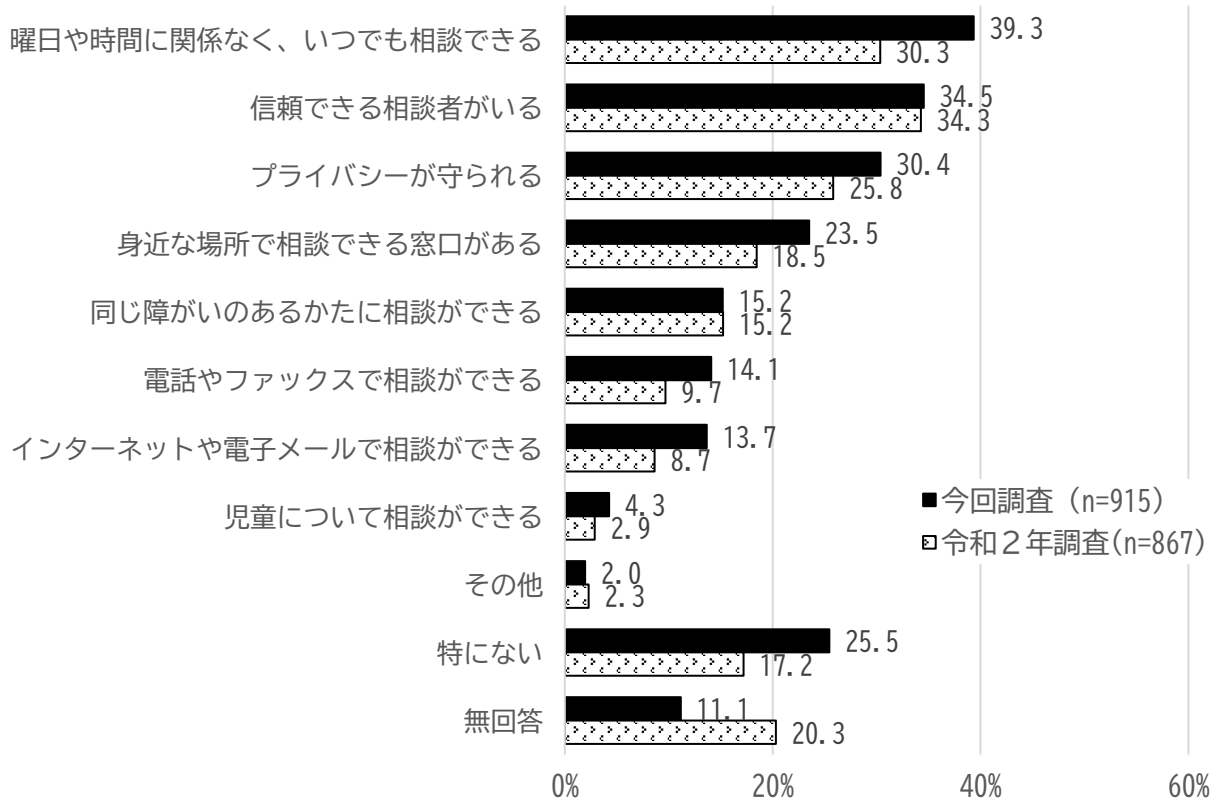
【障がいの種類別】

	回答者数	在宅で必要な医療ケアが受けられる	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが利用できる	生活訓練などの充実	住居と在宅サービスの一体的な支援	経済的負担の軽減	平日中を過ごす場所の確保	休日中を過ごす場所の確保	
全体	915	21.5%	14.1%	24.5%	9.8%	10.3%	30.5%	10.4%	8.2%	
2-4 障がいの種類	視覚障がい	37	35.1%	16.2%	27.0%	8.1%	10.8%	32.4%	18.9%	13.5%
	聴覚・平衡機能障がい	69	24.6%	10.1%	24.6%	4.3%	10.1%	23.2%	7.2%	4.3%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	36	30.6%	16.7%	30.6%	11.1%	16.7%	27.8%	11.1%	8.3%
	肢体不自由	247	23.5%	16.2%	31.2%	8.1%	12.6%	32.8%	9.3%	4.9%
	内部障がい	227	31.7%	7.5%	29.5%	3.5%	14.1%	20.3%	6.2%	3.5%
	知的障がい	170	7.6%	21.2%	21.8%	20.0%	9.4%	28.2%	22.4%	15.9%
	発達障がい	65	7.7%	27.7%	16.9%	24.6%	9.2%	47.7%	21.5%	24.6%
	自閉症	61	4.9%	39.3%	18.0%	24.6%	11.5%	39.3%	26.2%	29.5%
	精神障がい	140	17.9%	16.4%	21.4%	11.4%	10.7%	45.7%	15.7%	11.4%
	高次脳機能障がい	18	27.8%	11.1%	27.8%	16.7%	16.7%	38.9%	27.8%	16.7%
	難病	32	31.3%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	31.3%	6.3%	6.3%
その他	61	32.8%	14.8%	31.1%	6.6%	14.8%	39.3%	13.1%	9.8%	

	回答者数	相談支援の充実	地域住民の理解	コミュニケーションについての支援	緊急時の受け入れ先	就労への支援	その他	無回答	
全体	915	21.3%	13.4%	13.3%	31.3%	15.1%	4.3%	17.5%	
2-4 障がいの種類	視覚障がい	37	32.4%	10.8%	8.1%	27.0%	8.1%	5.4%	13.5%
	聴覚・平衡機能障がい	69	26.1%	14.5%	13.0%	26.1%	10.1%	5.8%	21.7%
	音声・言語・そしゃく機能障がい	36	19.4%	5.6%	5.6%	30.6%	2.8%	5.6%	16.7%
	肢体不自由	247	17.4%	8.5%	6.5%	35.6%	8.9%	2.0%	19.0%
	内部障がい	227	11.9%	5.7%	5.3%	30.0%	4.8%	4.8%	25.6%
	知的障がい	170	30.0%	27.6%	22.9%	40.0%	26.5%	4.1%	8.8%
	発達障がい	65	43.1%	30.8%	35.4%	30.8%	52.3%	3.1%	6.2%
	自閉症	61	39.3%	31.1%	37.7%	42.6%	47.5%	3.3%	8.2%
	精神障がい	140	36.4%	21.4%	22.9%	27.1%	27.1%	4.3%	10.0%
	高次脳機能障がい	18	16.7%	11.1%	16.7%	27.8%	27.8%	0.0%	5.6%
	難病	32	31.3%	9.4%	15.6%	37.5%	21.9%	3.1%	9.4%
その他	61	19.7%	13.1%	9.8%	44.3%	9.8%	8.2%	4.9%	

(11) 市内の相談窓口について、相談しやすい体制をつくるために必要なこと（あてはまるものすべてに○）

- 「曜日や時間に関係なく、いつでも相談できる」が最上位で、同回答率は令和2年度調査から上昇しています。
- 年齢7区分別で見ると、若い年齢区分ほど「信頼できる相談者がいる」との回答率が高くなっています。また、「同じ障がいのあるかたに相談できる」との回答も若い年齢区分ほど高く、「インターネットや電子メールで相談ができる」との回答も概ね同様の傾向です。

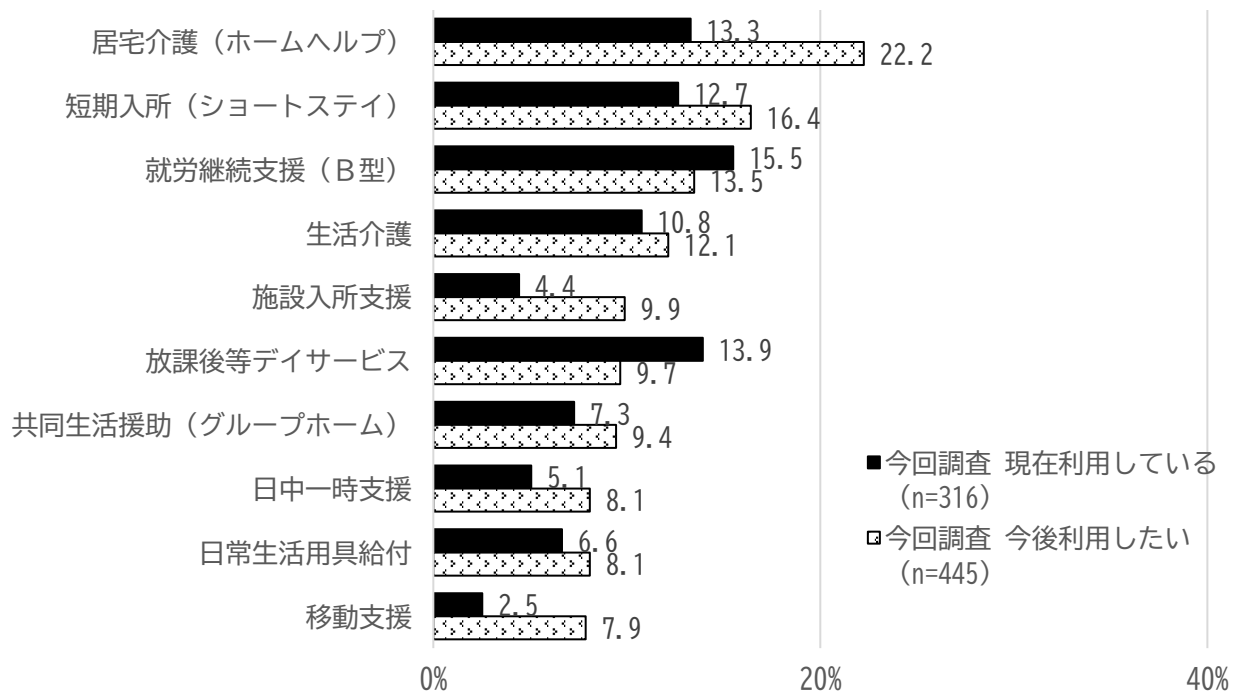


【年齢7区分別】

	回答者数	曜日や時間に関係なく、いつでも相談できる	児童について相談ができる	信頼できる相談者がいる	同じ障がいのあるかたに相談ができる	身近な場所で相談できる窓口がある	インターネットや電子メールで相談ができる	電話やファックスで相談ができる	プライバシーが守られる	その他	特にない	無回答	
全体	915	39.3%	4.3%	34.5%	15.2%	23.5%	13.7%	14.1%	30.4%	2.0%	25.5%	11.1%	
2-1 年齢7区分	0～5歳	10	30.0%	50.0%	60.0%	40.0%	50.0%	20.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	6～17歳	55	36.4%	21.8%	50.9%	23.6%	21.8%	25.5%	10.9%	36.4%	0.0%	16.4%	0.0%
	18～39歳	117	39.3%	5.1%	45.3%	17.9%	22.2%	23.1%	20.5%	38.5%	2.6%	24.8%	5.1%
	40～64歳	282	44.0%	2.5%	42.9%	19.9%	27.3%	20.6%	15.2%	37.9%	3.2%	21.3%	7.4%
	65～74歳	158	34.2%	3.2%	25.3%	12.7%	19.0%	5.1%	13.9%	24.1%	1.3%	32.9%	14.6%
	75～84歳	180	32.2%	1.7%	20.0%	9.4%	20.0%	5.0%	11.1%	18.3%	1.1%	33.3%	19.4%
	85歳～	99	48.5%	0.0%	29.3%	6.1%	27.3%	7.1%	11.1%	28.3%	1.0%	19.2%	15.2%

(12) 今後利用したい障害福祉サービス上位 10 (あてはまるものすべてに○)

● 「居宅介護 (ホームヘルプ)」が最上位で、次いで「短期入所 (ショートステイ)」と続いています。



- 年齢7区分別で見ると、40歳以上ではいずれの年齢区分も「居宅介護（ホームヘルプ）」が最上位で、0～5歳では「児童発達支援」が88.9%、6～17歳では「放課後等デイサービス」が75.6%、18～39歳では「就労継続支援（B型）」が30.6%と、それぞれの年齢区分で最上位の回答となっています。

【年齢7区分別】

	回答者数	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援 護	行動援 護	重度障 害者等 包括支 援	短期入 所 (シヨ ートス テイ)	療養介 護	生活介 護	自立訓 練(機 能訓 練)	自立訓 練(生 活訓 練)	就労移 行支援	就労継 続支援 (A 型)	
全体	445	22.2%	3.8%	6.1%	3.4%	1.8%	16.4%	3.4%	12.1%	7.0%	3.8%	4.7%	4.9%	
2-1 年齢 7区分	0～5歳	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	6～17歳	41	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	19.5%	0.0%	12.2%	0.0%	7.3%	2.4%	7.3%
	18～39歳	72	8.3%	4.2%	5.6%	2.8%	2.8%	23.6%	0.0%	19.4%	5.6%	9.7%	6.9%	11.1%
	40～64歳	142	21.8%	5.6%	7.0%	3.5%	2.1%	11.3%	1.4%	11.3%	4.2%	0.0%	9.9%	7.7%
	65～74歳	48	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	16.7%	2.1%	14.6%	18.8%	10.4%	0.0%	0.0%
	75～84歳	74	39.2%	2.7%	6.8%	2.7%	0.0%	10.8%	5.4%	5.4%	9.5%	1.4%	1.4%	0.0%
	85歳～	50	32.0%	8.0%	6.0%	8.0%	6.0%	30.0%	14.0%	12.0%	8.0%	2.0%	0.0%	0.0%

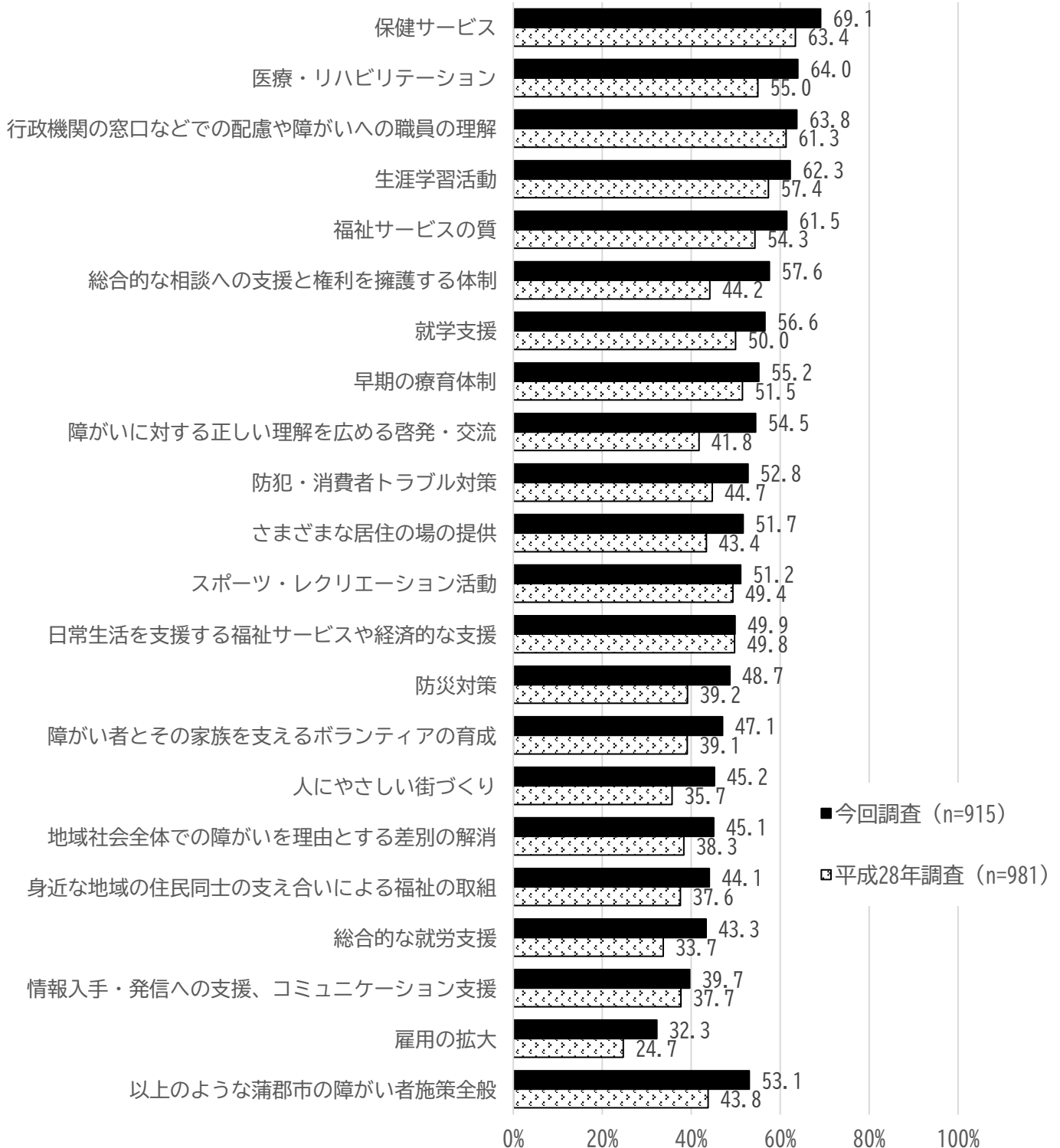
	回答者数	就労継 続支援 (B 型)	就労定 着支援	自立生 活援助	共同生 活援助 (グ ループ)	施設入 所支援	地域移 行支援	地域定 着支援	福祉 ホーム	移動支 援	日中一 時支援	地域活 動支援 セン ター	訪問入 浴サー ビス	
全体	445	13.5%	3.4%	4.9%	9.4%	9.9%	0.9%	1.3%	2.0%	7.9%	8.1%	4.5%	6.7%	
2-1 年齢 7区分	0～5歳	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	
	6～17歳	41	9.8%	2.4%	0.0%	9.8%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	2.4%	2.4%	
	18～39歳	72	30.6%	9.7%	9.7%	19.4%	6.9%	0.0%	0.0%	1.4%	16.7%	13.9%	4.2%	8.3%
	40～64歳	142	19.7%	4.9%	5.6%	13.4%	7.0%	1.4%	2.1%	0.7%	7.0%	5.6%	4.2%	6.3%
	65～74歳	48	6.3%	0.0%	4.2%	6.3%	12.5%	0.0%	2.1%	4.2%	8.3%	8.3%	10.4%	6.3%
	75～84歳	74	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	9.5%	1.4%	0.0%	2.7%	4.1%	4.1%	2.7%	6.8%
	85歳～	50	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	24.0%	2.0%	4.0%	4.0%	10.0%	8.0%	6.0%	12.0%

	回答者数	意思疎 通支援	日常生 活用具 給付	自動車 運転免 許取得・改 造助成	住宅入 居等支 援	児童発 達支援	医療型 児童発 達支援	放課後 等デイ サービ ス	保育所 等訪問 支援	居宅訪 問型児 童発達 支援	障害児 入所支 援	その他	無回答	
全体	445	1.8%	8.1%	3.1%	2.2%	2.9%	0.4%	9.7%	1.3%	0.2%	0.2%	5.2%	11.9%	
2-1 年齢 7区分	0～5歳	9	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	22.2%	55.6%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	6～17歳	41	2.4%	2.4%	4.9%	4.9%	9.8%	0.0%	75.6%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%
	18～39歳	72	2.8%	9.7%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	1.4%
	40～64歳	142	0.7%	7.7%	4.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	12.7%
	65～74歳	48	6.3%	14.6%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	14.6%
	75～84歳	74	0.0%	8.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	21.6%
	85歳～	50	0.0%	8.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	20.0%

障がい者施策全般について

(13) 蒲郡市の障がい者施策全般の満足度

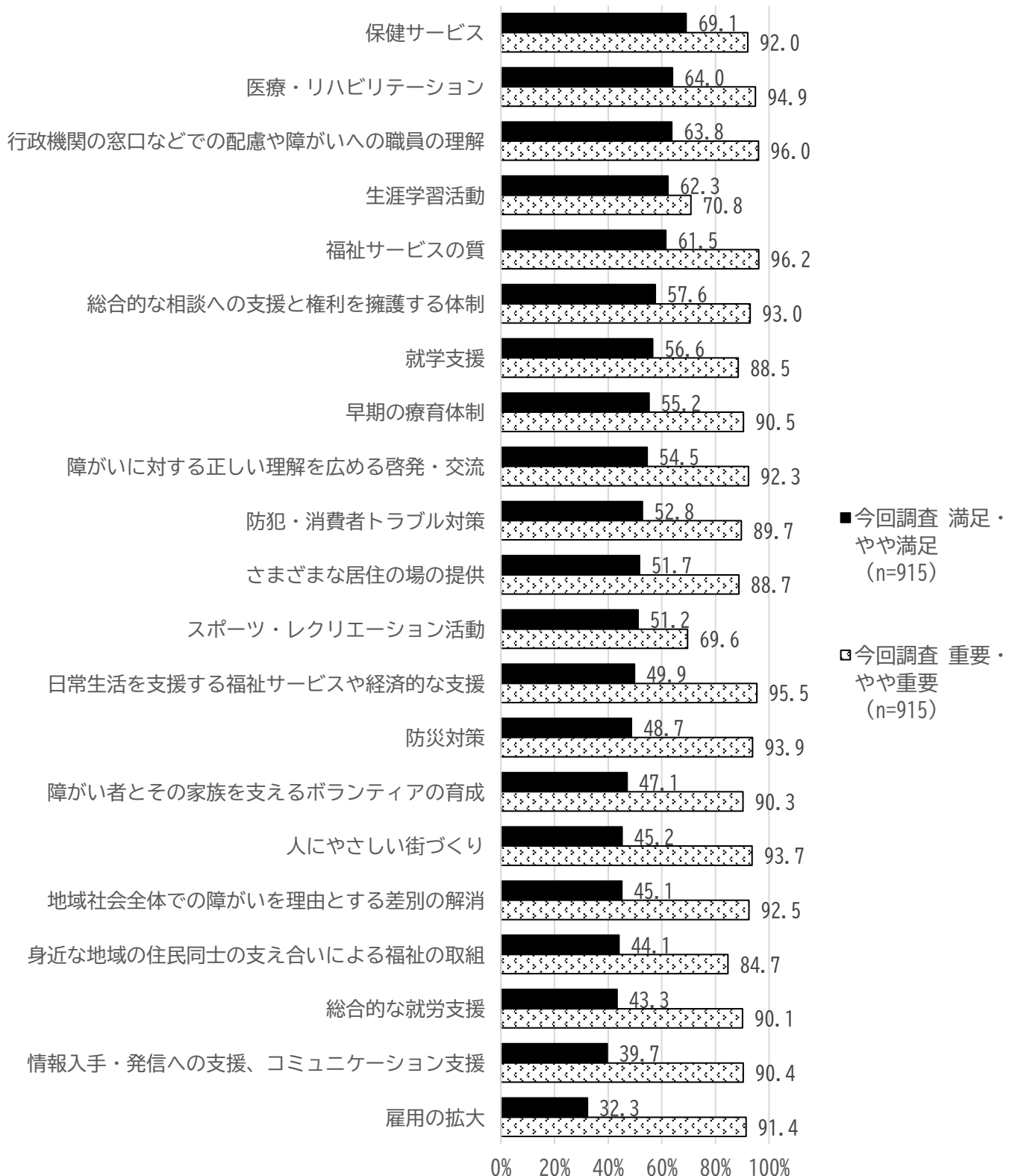
- 「満足・やや満足」という割合（満足率）は、“保健サービス”や“医療・リハビリテーション”、“行政機関の窓口などでの配慮や障がいへの職員の理解”などが上位で、多くの施策の満足率が平成28年度調査を上回っています。
- “蒲郡市の障がい者施策全般”の満足率は53.1%となっています。



※満足率は、「わからない」と回答した人や無回答の人を除いて集計

(14) 蒲郡市の障がい者施策全般の満足度と重要度の比較

- 「満足・やや満足」という割合（満足率）は、“総合的な就労支援”、“情報入手・発信への支援、コミュニケーション支援”、“雇用の拡大”などが下位となっている一方、「重要・やや重要」という割合（重要率）は、“行政機関の窓口などでの配慮や障がいへの職員の理解”や“福祉サービスの質”、“日常生活を支援する福祉サービスや経済的な支援”などで比較的高い回答率となっています。



※重要率は、「わからない」と回答した人や無回答の人を除いて集計